

事業所名

個別サポート教室こころん

支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日

2024年

8月

1日

法人（事業所）理念		理念：『子どもたちが笑顔でいられる環境を』						
支援方針		個別にひとりひとりをサポートすることを主とし、イベントを催すことで小集団の支援・他者との関わりも提供する。個々の困りごとに対して創意工夫するが、その瞬間のことだけでなく、将来に向けてのサポートも織り交ぜる。ご家族とともに、事業所としてできることを考え活動する。						
営業時間		10時	0分から	18時	0分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の健康の確認を行うとともに、体調不良などの意思の表出が難しい方には、表情や普段と違う様子を確認しながら、健康管理を行います。 ・生活するうえで必要なスキルの練習を行います。 						
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・模倣遊びを取り入れることでリズムに合わせた運動や感覚刺激を取り入れられるよう支援します。 ・トランポリンや平均台、ボール遊びを通じて体を動かすことを取り入れます。 						
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・ブロック遊びなどを通して、色や形、大きさ、重さなどを無理なく感じ取れるよう促していきます。 ・支援教材は、個々に手作りでその児童にあったサイズ感や色遣いでストレスなく過ごせるよう支援します。 						
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭や学校との意思疎通を行い児童への理解を深め、個々の児童に合った言葉だけではなく、絵カード、身振り、手振り、ジェスチャーなどの非言語コミュニケーションで相互理解を図ります。 						
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の遊びから集団遊びへ。意思を尊重しながら、集団や個の活動を促していきます。 ・人の気持ちや感情などを考えることができるように、SSTを行います。 						
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ・毎回のよう、10分程度ご家庭との直接的なやり取りの時間を設け支援内容の伝達や相談、日頃の状況の聞き取り等を行うことで、ご家庭での様々な悩みにも対応できるよう取り組みます。 			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ・PC認定試験等を利用することにより、将来へのスキル習得を目指します。 ・ビジョントレーニングを図り、速読の力等も育みます。 	
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ・地域のパソコン教室等を利用することで、外出先でのマナーや環境が変わったことに対する練習を行います。 			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・毎月研修等を行い、資格試験等も積極的に挑戦し学習することを義務化していきます。 	
主な行事等		PC認定試験（文科省後援 日本情報処理検定協会）・実験教室（京都大学研究室監修）・速読力等ビジョントレーニングの測定 季節のイベント行事						

事業所名

個別サポート教室こころん

支援プログラム（児童発達支援）

作成日

2024年

8月

1日

法人（事業所）理念		理念：『子どもたちが笑顔でいられる環境を』						
支援方針		個別にひとりひとりをサポートすることを主とし、イベントを催すことで小集団の支援・他者との関わりも提供する。 個々の困りごとに対して創意工夫するが、その瞬間のことだけでなく、将来に向けてのサポートも織り交ぜる。 ご家族とともに、事業所としてできることを考え活動する。						
営業時間		10時	0分から	18時	0分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の健康の確認を行うとともに、体調不良などの意思の表出が難しい方には、表情や普段と違う様子を確認しながら、健康管理を行います。 ・生活するうえで必要なスキルの練習を行います。 						
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・模倣遊びや手遊びを取り入れることでリズムに合わせた運動や感覚刺激を取り入れられるよう支援します。 ・トランポリンや平均台、ボール遊びを通じて体を動かすことを取り入れます。 						
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・ブロック遊びなどを通して、色や形、大きさ、重さなどを無理なく感じ取れるよう促していきます。 ・支援教材は、個々に手作りでその児童にあったサイズ感や色遣いでストレスなく過ごせるよう支援します。 						
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭や学校との意思疎通を行い児童への理解を深め、個々の児童に合った言葉だけではなく、絵カード、身振り、手振り、ジェスチャーなどの非言語コミュニケーションで相互理解を図ります。 						
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の遊びから集団遊びへ。意思を尊重しながら、集団や個の活動を促していきます。 ・人の気持ちや感情などを考えることができるように、SSTを行います。 						
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ・毎回のよう、10分程度ご家庭との直接的なやり取りの時間を設け支援内容の伝達や相談、日頃の状況の聞き取り等を行うことで、ご家庭での様々な悩みにも対応できるよう取り組みます。 			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ・小学校のスクールデスク等を用意しながら、保育所等との違いに適應できるよう準備の支援をする。 	
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ・進学先等への密な連絡を家庭からの要望があれば対応していきます。 			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・毎月研修等を行い、資格試験等も積極的に挑戦し学習することを義務化していきます。 	
主な行事等		PC認定試験（文科省後援 日本情報処理検定協会）・実験教室（京都大学研究室監修）・速読力等ビジョントレーニングの測定 季節のイベント行事						